

「自律 協力 挑戦」を支える学校づくり
～千代中の強みを生かした教育の実現～

小田原市立千代中学校

1 研究の目的

本校は学校教育目標を本年度より「自律 協力 挑戦」とし、変化が激しい時代において予測困難な社会をたくましく生き抜く人間を育てるべく、教育活動に取り組んでいる。

令和6年度の学校経営計画（グランドデザイン）の中から、次の4点の具体的な取組に力を入れ、学校教育目標の具現化をめざし研究を深めた。

2 研究の内容

（1）誰ひとり取り残さない学びの実現に向けた授業づくり

- ・校内研究組織を中心に、単元を中心としたPDCAサイクルでの指導を一層充実させながら授業改善を進めること
- ・個々の授業実践を重視し、小グループ内でお互いの授業を観察する機会を増やすこと
- ・生徒による学校評価を重視し、単元を中心とした学習等の学びについてのアンケートを実施し検証する。



（2）教育相談等を充実させ、生徒理解に努める

- ・千代中 HERO 像の「人の心を考えて行動できる人」を意識し、生徒も教員も、互いに認め合い尊重しあうことのできる雰囲気を醸成する。
- ・問題の未然防止に努めるとともに、タイムリーな指導ができるようにする。
- ・教室復帰をめざす目的の校内支援室（スマイルルーム）の運営を更に充実する。
- ・教育活動全体をととして道徳教育を推進し、インクルージョンの視点を大切にしながら他者と共によりよく生きていくためのスキルを身に付けられるようにする。

（3）生徒の自己実現や体験を充実させるとともに「地域とともにある学校づくり」をめざす

- ・総合的な学習の時間において「地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習」を核として、将来の社会に向けて何をすべきか自ら考えることができる生徒を育てる。（STEAM教育）
- ・スクールボランティアや、まちづくり委員会等との連携による生徒・職員・保護者・地域の協働活動の意図的な設定。生徒の「体験」重視と自己有用感を感じられるような価値づけ
- ・学校運営協議会を中心に、地域とのよりよい連携のあり方を検討し、工夫していく。



（4）健全な精神、健全な身体、豊かな心を育むための校内環境整備

- ・校地内の美化、生花や、樹木の剪定等も含んだ環境整備（生徒の自発性の喚起も含む）
- ・本校の教育活動に係る情報発信の充実に向けた機器等の整備
- ・折り紙、園芸、図書、等の各スクールボランティアと生徒の協働による環境整備

3 事業の成果

（1）について

校内研究組織を更に充実させ、「千代中学びプラン」による全教科での指導計画の明確化や、本校

の学びの重点的な取組とも言える、単元を中心としたP D C Aサイクルでの指導と評価の工夫・改善について、より実効的なものにしていくための方策を探りながら活動した。今年度は、教員個々の授業力向上をめざした授業実践を重視し、全員参観の研究日以外にも、小グループ内でお互いの授業を観察しあう機会を増やすことができた。昨年度の学校評価生徒アンケートの中で、単元計画を示し、単元のまとまりを大切にした本校の指導と評価の方法について、「短いスパンでフィードバックされてありがたい」「目標が明確になる」などと肯定的に回答した生徒が80%近くに及んだことも、研究を進めてきたことの成果として捉えている。学校運営協議会の中でも、「千代中の学びの進め方や評価方法に自信を持ってよいのではないか」とのお声をいただくことができた。

(2) について

生徒の心の些細な変化をキャッチするための組織的な対応と継続的な支援体制の確立に努めた。長期休業明けや行事の後には、教員のアンテナをいつも以上に高く張り、教育相談を実施した。慌ただしい日々の教育活動ではあるが、じっくり生徒と向き合う時間を取ることが必要であると決め、教員の気持ちを一つにして教育相談に臨めたことは大きな成果である。今後も、不登校やいじめ、問題行動等の早期発見、早期対応に有効な手立てとして、更なる生徒理解に努めていきたい。

(3) について

生徒が周りの人と関わる力（コミュニケーション能力）や生涯にわたり幸せに過ごすための「社会力」を身に付けるため、様々な体験の場をいただける「地域とともにある学校づくり」を強く意識して、様々な教育活動を進めることができた。

本年度も、まちづくり委員会等との連携・協力により、生徒・教職員・保護者・地域の協働活動を意図的に設定した。特に地域に出て、校外で中学生が活動することが効果的であろうと考えた。自分の住む地域の美化清掃活動への参加、地域の皆さんと一緒に活動できる防災訓練への参加、地域で展開される農業について実体験から学べる機会の設定、ほかにも貴重な「体験」の場を、地域の協力をいただきながらたくさん設けることができたと感じている。

学校運営協議会でも、農業体験等、地域と協働しながらの教育活動について、動画や画像を観ていただきながら「千代中学校区ならではの体験ができています」などの声をいただくことができた。今年の地域と学校との様々な協働活動からは、ゲストとして地域の方に来ていただくような印象ではなく、双方向で深く関わり合っている、つながることができている、と感じることもできた。



(4) について

本年度は、他者と関わり合い解決する生徒を育みたいという思いからスクールボランティアの方々と生徒との協働活動を増やすことに力を入れた。大人から教わり生徒が身に付けることに加え、生徒の頑張りによって大人が感動するという場面を数多く見たり聞いたりすることができた。

惜しみない協力をいただける地域の存在は、本校にとっての強みとなっている。生徒の心が動くような「体験」の場を設け、地域の大人に協力いただきながら価値づけし、生徒が自己有用感を感じながら「社会力」を身に付けていけるような「地域とともにある学校づくり」をめざしていきたい。